

平成23年度研究開発成果概要書  
「革新的光通信インフラの研究開発」

(1) 研究開発の目的

伝送容量の飛躍的な拡大を実現する次世代光ファイバとして期待されるマルチコアファイバを実線路に適用するには、ファンイン・ファンアウト機能およびマルチコアファイバコネクタが必須である。本研究では、実用化可能なファンイン・ファンアウト機能、およびマルチコアファイバコネクタを開発する。

(2) 研究開発期間

平成23年度から平成27年度（5年間）

(3) 委託先企業

古河電気工業株式会社 <幹事>、 千葉工業大学

(4) 研究開発予算（百万円）

平成23年度	28.0（契約金額）
平成24年度	26.4（ 〃 ）
平成25年度	24.8（ 〃 ）
平成26年度	23.3（ 〃 ）
平成27年度	21.9（ 〃 ）

(5) 研究開発課題と担当

課題イ：マルチコアファイバ接続技術

1. ファンイン・ファンアウト機能の開発（古河電気工業株式会社）
2. マルチコアファイバコネクタの開発（千葉工業大学）

(6) これまで得られた研究開発成果

（全体） 3件 （当該年度） 3件

特許出願	国内出願	0	0
	外国出願	2	2
外部発表	研究論文	0	0
	報道発表	0	0
	その他研究発表	1	1
	展示会	0	0
	標準化提案	0	0

具体的な成果

- (1) ファイババンドル技術関連の特許を2件出願（PCT出願）
- (2) 電子情報通信学会にてファンアウト開発の成果を1件発表

(7) 研究開発イメージ図